

第60回

活水高等学校卒業式

2008 . 2. 16 (土)

県内の高等学校のトップを切り、第60回活水高等学校卒業式が、本校チャペルにおいて行われました。

オルガンの伴奏で賛美歌を歌った後、神田校長より生徒一人一人に卒業証書が手渡されました。卒業生166人が、それぞれの思いを胸に学び舎から巣立ちました。



卒業生を代表して、八頭司 侑さんが、涙で言葉を詰まらせながら「在学中の苦労や充実感、先生や家族 特に友人に支えられたことなどを回想した」内容について感謝の言葉を述べると、同じ想いの卒業生の目からは、涙が流れました。

「^{たま}魂^{ゆず}譲り」

活水伝統の儀式である魂ゆずりの今年のリボンの色は、純潔の白と「サクラ」色でした。

卒業生の「神さまから注がれている愛とお互いを思いやり、助け合う心」を表現した色で、

「活ける水」を汲む^{たあけ}手桶にリボンを結んで、在校生に手渡されました。

